

KISC 11

2022
November

Kagoshima Industry Support Center



アロン電機株式会社
代表取締役
坂元 剛さん

今号の表紙



地域経済の中心的な担い手となりうる事業者「地域未来牽引企業」に選定（2018年）

アロン電機株式会社

代表取締役 坂元 剛

<企業概要>

所在地 薩摩郡さつま町永野950
設立 1971年2月
従業員数 139名
事業内容 金型治工具装置部品の精密機械加工品製造、自動機・省力化機器の製造、半導体製造装置等の製造、メッキラック治具等の製造

T E L 0996-58-0331
F A X 0996-58-0365
U R L <http://aron.co.jp/>

今号の表紙は、本県北西部・北薩地域の中心部に位置するさつま町で、半導体製造装置等の製造を主力とするアロン電機株式会社の代表取締役 坂元 剛さんです。

同社は、町の雇用対策での誘致企業として1971年に設立。当初は電気機器の接点、チャンネル等を製造していましたが、その後、1995年に入社した坂元社長の専門分野である設備機器の製造へと舵を切りました。

主な事業内容は、金型治工具装置部品の精密機械加工品製造、自動機・省力化機器の製造、半導体製造装置等の製造、メッキラック治具等の製造です。

設備機器、自動機器及びそのサービスを提供することに特化し、その中で、顧客からの相談や課題を解決することを最優先しようというビジョンのもと、顧客ニーズに連動した生産資材のニッチで半歩先の開発を要する製品を製造販売しています。

そのビジョンに対応するため、『半歩先の技術・製品開発』や、『生産プロセスのシステム化』を進め、さらにそれらを支える『機能的組織』の構築や『社員支援システム』の構築と育成に取り組んでいます。

◇『半歩先の技術・製品開発』

営業部から技術部・製造部まで一貫して顧客ニーズへの対応と開発会議による製品プロセス開発を推進しています。

ニッチな装置機器と特殊な加工技術が強みとし、複雑な形状加工を可能にする5軸加工、平面度1ミクロンの高精度研磨加工、ノズルなどに使われる細穴加工、吸着パッド等のゴム加工、高精度接着を組み合わせた機能部品など複合加工等を得意と



ロール金型の拡大写真

しています。

◇『生産プロセスのシステム化』

高品質またはニッチな装置機器や少量多品種などの顧客ニーズに対応するため、社内プロセスを支援する省力化機器開発やシステム開発を推進しています。

技術部と製造部の連携を図り、省力化の仕組みや装置を創造する『工場革新会議』を設置し、差別化された強みとなる49の省力化機器の開発、納期管理・在庫管理・受発注管理・電子工程票・受注予測・原価管理・発注先データベースシステム7件の支援システムの構築を行っています。

これらの取組は、市場評価の指標である顧客満足度86点／100点、社員満足度82点を達成し、また、地域経済の中心的な担い手となりうる事業者「地域未来牽引企業」にも選定されています。

◇今後の取組

「職場環境改善による社員満足度を上げる経営を目指しています。女性・熟年・外国人・障害者等が働きやすい職場環境の平準化を目指し、教育監査・教育履歴カードシステムによる教育状況の見える化、そのための多能工化を推進しチームによる課題解決を図り、社員満足度90点を目指しています。

『工場革新会議』で、ロボット化・省力化・治具化の推進を図っており、現在、バリ取りロボットを開発中です。

また、社員へのタブレット配布、手順書など情報格納庫の整備、DXによる工程の見える化推進など、新しいDX道具活用を推進し情報を取り出しやすい環境を構築しており、仕事を通じて社会貢献し社員が誇りを持てる業務内容の展開を目指しています。」と坂元社長は語っています。

【1989年4月情報会員加入】

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 よろず支援拠点支援事例
- 5 プロフェッショナル人材戦略拠点
- 6 取引振興コーナー
- 7 わが社の輝く女性 株式会社中園久太郎商店 外園 洋子 さん
- 8 応援します！中小企業の経営革新
- 10 特集 令和3年度主要事業の支援事例紹介
- 13 特集 令和4年度鹿児島県経営品質賞『奨励賞』受賞企業紹介
- 14 会員企業PRコーナー
- 16 インフォメーション 広告



3Dスキャナー型三次元測定機



ラックのロボット

私の 思い



株式会社 商工組合中央金庫
鹿児島支店長 やしろう ゆういちろう 矢代 雄一郎

1993年4月 早稲田大学政治経済学部卒業
後 商工組合中央金庫入庫
2011年7月 松山支店次長
2013年7月 押上支店次長兼浦安出張所
所長
2016年7月 彦根支店長
2018年8月 人事部参事役兼人材開発室
参事役
2020年4月 浜松支店長
2022年4月より現職

変化し続ける時代における普遍的な思い

鹿児島に着任して

今年の4月に静岡県浜松市から赴任してまいりました。

県外から来られた多くの方々と同様に「鹿児島は食材の宝庫」と実感しております。

ハマチ・鰹・ウナギなどの水産、牛や鶏などの畜産、お茶もあれば焼酎もあり、数々のすばらしい食材を全国に提供する力強い県です。

全国各地で勤務してきましたが、これほど日本の食卓を支えている県は少ないと感じております（私自身も長らく変化しなかった体重に既に変化が・・・）。

ポストコロナの経営サポート

新型コロナウイルス感染症により経営環境が大きく変化し、県内の多くの企業では困難な経営を余儀なくされました。

この経済危機に対し、私ども商工中金では「新型コロナウイルス感染症特別貸付」という制度融資で多くの企業の資金繰りの円滑化をサポートさせていただきましたが、次はポストコロナです。

ポストコロナの時代は、人口減少・高齢化（労働力不足）や地球温暖化を視野に入れる必要があり、さらには紛争や食糧問題など想定外の課題も相次いで生じています。

まさに、複雑で曖昧で予見しにくいVUCA（※）の時代となっています。

このように企業を取り巻く経営環境はコロナ前とは大きな変容が見込まれ、今まで以上に様々な

工夫をしながら事業活動を進めていく必要があります。

商工中金は、持続可能な、活力のある、サステイナブルな経済社会の実現に向けて、金融面のみならず、企業価値向上につながる様々なお手伝いをさせていただきます。

パーパス経営の実現を目指して

今年度、商工中金は新たに「パーパス」と「ミッション」を定めました。

パーパスは「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする」、ミッションは「安心と豊かさを生み出すパートナーとして、ともに考え、ともに創り、ともに変わり続ける」と定めました。

商工中金の目指すパーパスとミッションは普遍的なものです。重点を置く施策やビジネスモデルは、環境やニーズの変化に適応していくことが必要です。

この変化の激しい時代に、お客さまの未来を支え続けていくためには職員自身が主体的に変化し続けることが必要であり自律型の人づくりにも取り組んでおります。

そしてパーパス、ミッションの実現につながるよう、お客さまとの対話を深化させ、変化し続ける課題への対応策をお客さまとともに考え、企業の成長につながるお手伝いができるよう職員一同心掛けて活動して参ります。

※…変動性（Volatility）、不確実性（Uncertainty）、複雑性（Complexity）、曖昧性（Ambiguity）の頭文字

よろず支援拠点支援事例



コロナに負けんど！ よろず版アメリカンドリームで 日本中に流通

奄美らいず
-Shima-DO合同会社
あまみらいずしまーど

代表社員
田畑 栄子（たばた えいこ）

080-2714-8920

〒892-0862 鹿児島県鹿児島市坂元町47-89

<https://amamiraiz.com/>

□事業者様概要

2016年個人事業主として創業し、事業の拡大に伴い2021年法人化。故郷である奄美大島のたんかんや黒糖をはじめとした地域資源を用いた商品開発を行い、自社で製造販売している。オーナーの抜群のセンスでお土産品・特産品としての枠を飛び越えた商品は、自分へのご褒美として人気である。大手の百貨店、雑誌の通販カタログへ掲載され、全国にファンを持つ事業者である。

事業再構築

1 現状

「奄美ん黒糖シリーズ」を 全国に流通させたい！

2016年、故郷である奄美の地域資源を使った商品開発をするため、利用できる補助金はないかと当拠点に来訪。奄美のお土産品としてナッツやいちじくに奄美産の黒糖をまぶした「奄美ん黒糖シリーズ」を開発され、補助金を活用しラベル作成を行なった。その後も継続した支援を行っており、2020年自信作である「奄美ん黒糖シリーズ」を全国に流通させるためにどのような方策を立てればよいかが課題となった。



2 課題

コロナ禍だからできた！ 商品を見つめ直して方向転換！

奄美のお土産品としてのポジショニングの「奄美ん黒糖シリーズ」。奄美では売れているが、島外では取引先が増えず、販売数が伸び悩んでいた。イベント出店や、観光施設のテナントに入りご自身で販売（BtoC）し、製造や商品のブラッシュアップに時間を割けない状況であった。更にはコロナ禍でイベント出店が減ったため、商品を見直すなど事業の課題を洗い出す必要が出てきた。課題としては、イベントでの販売が主であったことから、売上が安定しないことであった。そこで、売上が安定させる為にターゲットやポジショニングの再設定が必要となった。また、商品を全国に流通させるために、商談会でバイヤーの目に留まる商品へのリブランディングを行うこととした。

3 対応

リブランディングしてバイヤーの 目に留まる商品に！

奄美のお土産品として開発された「奄美ん黒糖シリーズ」。その中でも「いちじく」を自家製のたんかんシロップに漬込み黒糖をまぶした商品が人気であったことから、健康・美容好きの女性をターゲットとした自家用商品としてリブランディングし、日本中に流通させることを提案。リブランディングするために様々な項目を討議した。ネーミングを、美味しさを想像していただけるよう「奄美黒糖キャラメリゼ」に変更。パッケージは、世界自然遺産になった奄美を感じるものにリデザイン。自家用商品として受け入れられるよう、流通する際の掛け率も考慮した原価計算から量目を50gから100gに増量し価格を変更。また、バイヤーやファンとの接点の場としてブランドサイトを立ち上げた。

4 成果

見せ方を変え全国に挑戦！ よろず版アメリカンドリーム

2020年の「よろず主催のバイヤー商談会」を皮切りに多数のバイヤーの目に留まり、大手出版社や百貨店の媒体に掲載され3,000袋以上販売。まさに日本全国に流通する商品となった。ターゲットを明確にしたことで、売上は11倍になり、卸メインにしたことで生産性向上につながった。また、事業拡大に伴い、2021年には法人化し合同会社を設立。また、受注増加に対応すべく、広い工房へ移転。相談に来られて約6年、伴走した支援を継続。今後は、更なる事業拡大を目指し販路拡大を支援していく。



支援の ポイント

リブランディングをするにあたり、バイヤーと商談する際（BtoB）に、「商品をどのように見られたいか」を熟考していただくことを徹底した。また、チャレンジするハードルが低くなるよう、必要な経費については補助金などを活用することをアドバイス。小売、卸業の経験がなかったため商談シート（FCPシート）やその後の流通などフェーズに合わせた支援を行った。あくまで主役は事業者であり、歩幅を合わせ横で支え伴走支援することを心がけた。



相談者の 声

いつも不安や疑問を取り除いてくれます。初めてのことはばかりで不安でしたが、チームよろずの皆さんがその時々起こるであろう課題を先回りしてアドバイスをくださったので、スムーズに商談を進めることができました。今後、事業拡大するために様々な課題が出てくると思います。継続してご相談させていただきます。



Instagram



Facebook



LINE



TEL / 099-219-3740

<https://yoro-zu-kagoshima.go.jp/>

カゴよう



プロフェッショナル人材戦略拠点

企業のチャレンジを担える人材との
マッチングをお手伝いします！

県内企業の成長発展を人材面で積極的にサポート。お気軽にご相談ください。

◇「プロ人材活用セミナー」を開催しました

10月14日（金）、鹿児島市内のホテルで、「プロ人材活用セミナー」を開催しました。会場とオンライン合わせて、約90名が受講されました。

第1部では、「事業再構築におけるプロ人材の活用」と題し、PwCコンサルティング合同会社の木本留理子氏が、事業再構築の必要性やそのポイントとプロ人材の活用について説明しました。

また、第2部では、パーソルキャリア株式会社の茂手木誠氏が、「副業・兼業人材を活用した地域企業の成長戦略成功例」と題し、副業・兼業人材活用のメリットや成功事例に基づく留意点や活用ポイントについて説明しました。

参加者からは、「副業・兼業は事業規模や地域性に関係ないことが理解できた。投資リスクも少なく魅力的である」といった意見などがありました。



（セミナーの風景）

◇プロ人材 382件（うち副業・兼業15件）の採用成約！

「鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点」では、県内企業の皆様から、人材に関し多数のご相談を受け、経営人材や専門人材、即戦力人材等の求人に関し、適合する人材の採用・獲得に向け、登録人材紹介事業者等を介してマッチングをサポートしています。平成28年1月の開設以来、382件（人）（うち副業・兼業人材15件）のプロ人材の採用成約が実現。（令和4年10月末現在）。

また、常勤雇用人材だけでなく、副業・兼業人材の活用についてもサポートしています。

副業・兼業人材活用については、地域企業にとって、① 問題解決の即戦力、② 低コスト、短期間活用が可能、③ 既存社員の意欲・スキルの向上などのメリットがあります。特に、インボイス制度、電子帳簿保存法への対応などデジタル化の推進が待ったなしの状況である中、その対応策として副業・兼業人材の活用は有効な手段の一つです。

これまで食品製造業の営業戦略の策定、住宅建設業のSNS広報、印刷業の社員デザイン教育、食品製造業のECサービス向上、飲料製造業の販売戦略の強化・PRなど多様な活用実績が挙がっています。

当プロ人材拠点としては、今後も、本県事業者の発展・成長のため、プロ人材の採用や副業・兼業人材活用のマッチングサポートを促進していきますので、お気軽にご相談ください。

「プロフェッショナル人材戦略拠点」

人材戦略マネージャー	木場 信人
サブマネージャー	濱弓場 厚志
人材活用支援専門員	内田 健一郎
人材活用支援専門員	野元 慶一
人材活用支援専門員	有村 吉弘

◇（公財）かごしま産業支援センター
鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点
TEL：099-219-9277 FAX：099-219-1279
E-mail：projinzai@kisc.or.jp
URL：https://www.kagopro.jp/



取引振興コーナー



取引振興課では、展示会での県内企業 PR、取引商談会の開催、発注ニーズをもつ企業からの依頼等により、受発注企業の取引あっせんを行っています。

取引あっせんの実施状況と効果

【令和2年度取引あっせん案件

～1年後も約7割が取引継続、取引金額は当初の約3倍強に！】

R2年度は202件の取引あっせんを行い、66件、35,910千円の取引が成立しました。1年後の状況を調査したところ、取引が継続しているものは47件、47件の金額は当初の約3倍強に拡大していることがわかりました。

【あっせん時（令和2年度）】

◆取引あっせん	202件
◆成立件数	66件
◆取引金額	35,910千円
◆継続取引金額	18,956千円

フォロー調査

【1年後（令和3年度）】

◆取引継続件数	47件（約7割）
◆継続取引金額	68,877千円（約3倍強）



今後も、一過性でない継続される取引を目指して、取引の拡大や新たな販路拡大に貢献していきます。

取引あっせんの仕組み

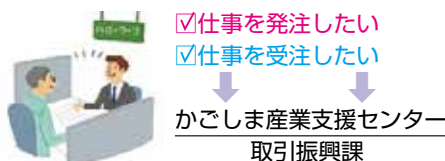
各企業の希望に応じた紹介・あっせんを円滑に行うために、当センターへの企業登録をお願いします。

※センター登録、取引のあっせんはすべて無料です。



① 取引あっせん申込み → ② 相手企業の選定 → ③ 相手企業の紹介・あっせん

◎イメージ：ハローワークの企業版



◎イメージ：お見合い



対応できそうな企業を、
「約 900 社の企業データ」
「職員の蓄積データ」
をもとに「ピンポイント」
でご紹介！

※ 各都道府県支援機関との連携による「広域的なあっせん」も行います。

【お問い合わせ先】（公財）かごしま産業支援センター 取引振興課 TEL：099-219-1274

わが社の輝く女性！

今号でご紹介するのは、JR日本最南端の西大山駅（指宿市）の目の前にあり、これまで110年以上にわたって地元の食材にこだわった漬物・惣菜等を製造販売している株式会社中園久太郎商店で、製造主任と品質管理を担当している 外園洋子さんです。

株式会社 中園久太郎商店

所在地：指宿市山川大山860-2

創業：1912年(明治45年)

従業員数：56名

事業内容：漬物・惣菜製造販売卸売業
指宿産マンゴーの商品開発・販売
種子島産安納焼き芋の製造・販売

T E L：0993-34-1180

F A X：0993-27-6015

U R L：<http://www.tuke-mono.com/>

ほかどの ようこ
外園 洋子さん

製造部
品質管理課主任

- ・さそり座
- ・名城大学国際学部卒
- ・デンマークにて1年
農業留学（酪農）
- ・2015年入社



◆会社紹介

明治45年創業、地元の新鮮野菜を使った漬物づくりに取り組んで110年になります。

契約農家から仕入れた原料の加工から味付け、包装、出荷まで一貫して手掛けています。

大正8年、創業者の中園久太郎が考案した「さつま漬」は、桜島大根を輪切りにして酒粕等で5回の漬替えをし、約1年かけて仕上げた製品で、今なお愛される逸品です。



◆会社での現在の担当部署は

製造主任と品質管理を担当（本来は担当を分けるべきですが）しています。

製造から出荷まで円滑に回るように人員を配置、予定を作成し、製品の品質チェック、品質向上のための衛生管理、社員教育を行っています。



◆入社のきっかけは

沖縄より指宿の畜産農家に嫁ぎ、子育てをしながら家計を支えたいと考えていた際、弊社の求人を見つけ入社しました。

◆仕事上での印象深い体験談など

入社4か月目、漬け込み時期に入り担当することになりました。

高菜を漬け込む大きな地下タンクに驚き、大根は隙間なくぎっしり並べて漬け込むなど、作業は体力勝負で想

像以上の体験でした。

また、桜島大根を見るのも初めてでしたが、それを漬け込み、粕漬してできた「さつま漬」を初めて食べた時の感動も忘れられません。

◆品質管理についての思いや心がけていることは

安心、安全の製品を作るためには、社員全員が同じ思いで製造に従事することだと思うので、日々の指導、声かけを通して全員で品質の高い製品づくりを目指しています。

◆会社への思いや抱負について

入社したことで漬物づくりの難しさ、面白さを感じています。

そんな奥深い漬物の魅力や、美味しさをもっとたくさんの人に伝えられるよう、百年続く伝統の味を継承しつつ、お客様のニーズに応えられる製品づくりを目指し、長く愛される漬物会社であるように頑張りたいと思います。

★漬物アレンジレシピご紹介



①蒸し鶏の香味ダレ（たくあん・ネギ・ごま油）

②調味料なしで素材の旨味を堪能！

とろり新玉ねぎとさくらつぼ漬のかき揚げ

③こんがり高菜チーズトースト

【2021年3月情報会員加入】

応援します！中小企業の経営革新！

～経営者のための経営革新支援制度活用術～

- 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取組を支援しています。
- このシリーズでは、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介します。



代表取締役 大久保 優一 氏

Q. 企業概要・沿革について教えてください。

当社は、私が大手ガソリンスタンドに13年勤務した後、平成20年に自動車洗車サービス業として、霧島市隼人町で自宅に併設する形で開業しました。その後、順調に業績を伸ばし、平成23年に同町内で移転し、25年に始良市、27年には鹿屋市に新店舗をオープンしました。同時期に法人成りしております。

平成30年には旗艦店舗「RevoS」を霧島市に建設し、現在は4つの営業店、13名の従業員で運営しております。主な業務内容は洗車・ボディコーティングで「カークリーンアップ業界で No. 1 の年商10億円企業」を目指しており、名実ともに世界で1番のカーコーティング専門店を実現することが目標です。

当社は、新サービスの提供を開始する際に経営革新支援制度を積極的に活用しています。これまでに3回（平成25年、28年、令和3年）の計画承認を受けて経営の向上に取り組み、着実に付加価値額を伸ばしています。

【経営革新計画のテーマ】

『オリジナルカーコーティング剤「ONE SHINE」の販売による販路拡大と経営力向上』

Q. 経営革新計画（3回目）に取り組むきっかけとその内容を教えてください。

今回のコロナのような感染症の流行や大規模な災害発生時、その影響を回避できず、従業員が直接洗車を行うサービス業を拡大することにリスクと限界を感じました。

そこで、これまで各店舗で補足的に販売していたコーティング剤を全面的に見直しました。具体的には、商品名を一新し、成分に特殊ガラス繊維を含ませてコーティング剤の特殊効果が90日以上持続するようにし、車の外部塗装面や窓ガラスは勿論、家具等にも使用できること等のPRを行いました。誰にでも簡単にプロ顔負けの仕上がりが実現できる洗車工房独自のスーパーコーティング剤として、着実に皆様からの支持を伸ばしているところです。

このような取組により、カーコーティング剤の販売という新たな事業の柱ができ、リスクの回避につながりました。

洗車工房株式会社

＜企業概要＞

所在地：霧島市隼人町松永1044

設立：平成26年

資本金：9,500千円

従業員数：13名

業種：自動車整備業

T E L：0995-42-0531

H P：https://sensyakoubou.com

Q. 経営革新計画承認で活用した制度はありますか。

令和3年度に経営革新支援事業費補助金を活用し、オリジナルカーコーティング剤「ONE SHINE」のブランド力アップに取り組みました。

具体的には、従来の「洗車工房ブランド」から火山灰に鍛え抜かれたカーコーティング「ONE SHINE」へのブランド転換を図るため、まず、専門家のコンサルティングを受けて企業ブランドを再構築しました。次に、ブランドを可視化して訴求するため、「ONE SHINE」仕様の看板デザインやホームページに刷新しました。

ブランド力が強化できたことで当社の認知度が高まり、多くの方から「ONE SHINE」の注文をいただけるようになりました。

Q. 今後の取組について教えてください。

コロナ禍の影響により、新車の納期が長期化しているため、既存事業の新車カーコーティングの需要が減ってきています。それに合わせて、今回の物価高により、愛車の洗車やコーティング等に掛ける費用捻出もますます厳しくなっているようです。このような状況を打開するために、インターネットを活用した「ONE SHINE」のさらなる販売強化を行い、労働集約型サービスだけに頼らない経営を目指します。また、これまで育成してきた支店の人材や固定顧客（約8,000人）などの経営資源を活かし、中古車個人売買マッチング「カウマッチ」を新たに事業展開していきます。既存事業とのシナジー効果により、鹿児島県の車業界の活性化に貢献したいと考えております。



■経営革新計画■

新商品の開発・生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

- 【承認基準】 ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取組であること。
②付加価値額と給与支給総額の数値目標が次のとおりであること。

経営指標 \ 事業期間	3年	4年	5年
付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費）	9%以上	12%以上	15%以上
給与支給総額（役員報酬＋給料＋賃金＋賞与＋各種手当）	4.5%以上	6.0%以上	7.5%以上

※法改正に伴い、令和3年8月2日より、経営革新計画の対象者等が変更になりました。

対象者：中小企業者→特定事業者へ（各業種毎の従業員数範囲の拡大及び資本金要件の撤廃）

※詳細は、県ホームページでご確認ください。

<https://www.pref.kagoshima.jp/af02/keieikakushin/shienseido.html>

【支援策の内容】 ①日本政策金融公庫による低利融資 ②信用保証の特例 ③県補助金 など
【問合せ先】 鹿児島県中小企業支援課 中小企業支援係

TEL：099-286-2944（直通）、FAX：099-286-5576、E-mail：shien@pref.kagoshima.lg.jp

経営革新計画承認手続きのフロー

支援措置に関する支援機関への事前相談及び事業実施に必要な要件等の充足

- ・ 計画の承認は支援措置を保証するものではありませんので、県への相談と併せて該当する支援機関にも事前に、相談してください。
- ・ 事業実施に必要な要件の充足のため、各種営業許可や各種規制等への条件整備等について、該当する行政機関等に事前に相談してください。

県庁中小企業支援課への問合せ・相談

対象者の要件、経営革新計画の内容、申請手続・窓口、支援措置の内容等ご相談ください。

【経営革新計画の申請・相談窓口】

県庁中小企業支援課中小企業支援係
TEL：099-286-2944
FAX：099-286-5576
E-mail shien@pref.kagoshima.lg.jp

かごしま産業支援センター、各商工会議所・商工会等でも相談を受け付けています。

経営革新計画の作成に当たっては
・ 現在の事業内容
・ 新しい取組の内容
・ 既存事業との違い
・ 経営の向上を示す指標（付加価値、給与支給総額）の伸び
・ 実施計画や希望する支援策などを整理する必要があります。

必要書類の作成・準備

申請書は県庁中小企業支援課に用意しています。また、県のホームページからもダウンロードできます。
○<https://www.pref.kagoshima.jp/af02/keieikakushin/shienseido.html>
○「鹿児島県 経営革新」で検索

県及びかごしま産業支援センター、各商工会議所・商工会等では、ビジネスプランの策定の仕方、申請書の書き方等をアドバイスしています。

申請書の提出

申請書の提出先は県庁中小企業支援課（本社所在地が鹿児島県内の場合）です。
申請書提出先は申請代表者・実施主体者の構成によって異なります。

申請に必要な書類は

- ①経営革新計画承認申請書
 - ・ 様式第13
 - ・ 別表1～7
- ②補助様式1～3
- ③定款
- ④直近三期間の決算書
- ⑤残高試算表
- ⑥直近二期間の法人税確定申告書及び附属明細書
- ⑦県税に係る納税証明書
- ⑧その他参考資料
（営業許可証等の写し、パンフレット、図面、見積書など当該計画に関するもの）

経営革新計画の承認

申請受付後、経営革新計画の内容等について審査を行った上で承認となります。
承認後、フォローアップのために計画進捗状況調査等を行いますのでご協力ください。

各種支援措置の活用等

- ①県補助金
- ②低利融資
- ③信用保証の特例
- ④海外展開に伴う資金調達支援措置
- ⑤中小企業投資育成株式会社からの投資
- ⑥県制度資金による融資（新事業チャレンジ資金）
- ⑦起業支援ファンド（中小機構）からの投資 など

各支援措置は、計画の承認とは別に、該当する支援機関の個別審査を受ける必要があります。

経営革新計画の達成

特 集

かごしま産業支援センター 令和3年度主要事業の支援事例紹介

(公財) かごしま産業支援センターでは、県内中小企業の総合的な支援機関として、新事業創出、戦略的産業振興、地域資源活用、研究開発・技術、マーケティング、情報化、人材育成等の様々な支援に積極的に取り組んでいます。

今号では、令和3年度の主要事業の支援事例をご紹介します。

◇新事業創出等支援

○専門家派遣事業

創業者や中小企業等の経営、情報化、販売、マーケティング等の様々な経営相談に対応して、センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行いました。(採択10件)

企業名：九州ハーネス(株)
所在地：志布志市松山町泰野334-2
業 種：電気機械器具製造業
(自動車用ワイヤーハーネス組み立て)

《テーマ》
小集団活動の現場改善による
生産性の向上並びに不良率の
低減



《現場での支援の様子》

《支援内容・成果》

取組内容：①生産性向上に向けた技術支援 ②不良率低減に向けた技術支援 ③若手人材の育成
具体的な成果：

現場での作業観察や分析手法の指導により、管理者や作業者の意識が変わっていった。現場での技術的指導に加えて、座学指導により改善活動に関する理解が進み、若手メンバーの人材育成を行うことができた。

具体的な成果として、モデル工場では活動前に対し、1人時間当たりの生産本数が23%向上した。不良率は87%減少し、社外クレームも0件を継続している。

○新産業創出ネットワーク事業（研究開発支援）

新事業進出のために実施する新技術や新製品の研究開発を行う鹿児島県内の中小企業者等に対し、研究経費の一部を補助しました。(採択3件)

企業名：(株)サナス
所在地：鹿児島市南栄3-20
業 種：食料品製造業

《テーマ》
オンリーワン素材アンヒドロフルクトースでの新分野進出
のための新技術開発



《1,5-AF添加飼料と豚の肥育状況》



《支援内容・成果》

鹿児島大学との共同研究で製品化したオンリーワン素材であるアンヒドロフルクトース(1,5-AF)を用いて、養豚での生産性と肉質向上を目的とした研究開発を支援しました。

1,5-AFを豚の飼料に添加することで、豚の増体促進や肉質向上の効果が認められました。

今後、製品化に向けて試験頭数を増やして検証を進めていきます。

○新産業創出ネットワーク事業（新事業進出支援事業）

独自の技術を用いた新製品の開発や地域資源を活用した地域課題の解決に資する製品の開発に取り組む県内の中小企業者に対し、人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を補助しました。（採択13件）

企業名：(株)JUN建設
所在地：霧島市隼人町内666-3
業 種：一般土木建築工事業、
コーヒー製造業

《テーマ》

国産コーヒー豆及びコーヒー果
実を活用した高付加価値商品の
開発・製造販売



《コーヒー豆果肉除去機》



《商品化されたゼリー、プリン》

《支援内容・成果》

国産コーヒー果実から、これまで廃棄されていた果肉部分を活用した商品の開発、特許申請中の独自の焙煎技術を活かした健康成分が多く含まれるコーヒー豆及び加工品の販売、既存商品に加え商品ラインナップの充実と信頼性を高めるための研究開発等を支援しました。

鹿児島大学との共同研究により、健康効果が高い機能性成分を発見したほか、国内初のコーヒー果肉除去機の開発に成功し、商品化のペースを整えることができました。

企業名：(株)テクノクロス九州
所在地：霧島市国分上野原テクノパーク6-31
業 種：半導体製造装置製造業

《テーマ》

業界初のマシニングセンターへ自動搬送ロボット
を活用した自動バイス交換システム



《搬送システム》

《支援内容・成果》

現行の半導体業界のみの顧客を自動車業界まで拡大し、当該システムを活用し、新規参入を目指すための研究開発を支援しました。

加工品の金属をバイスにセットする作業のみで加工を自動化することに成功し、作業工程の省力化が図られ、生産性を向上することができました。

○起業支援事業

鹿児島県ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者を対象に、そのビジネスプランの事業化を推進するために必要となる費用の一部を助成しました。（採択8件）

企業名：(株)スカイメディアケアラボ
所在地：薩摩川内市隈之城町
1475-9
業 種：障害児福祉サービス業
(薩摩川内市3所、始良
市1所、鹿児島市1所)

《テーマ》

新しい生活様式に対応した療育施設
の新規開設と運営推進のための
看板設置及び充実した支援設備の
導入

《支援内容・成果》

同社は、専門的な発達支援、療育施設不足など子育て支援に関する課題解決に取り組んでいます。

今回、乳幼児から学齢期を対象とする障害児通所支援事業所「ことばの教室そらまめキッズ」を始良市に増設するにあたり、設備や検査用具等の導入にかかる支援を行いました。

大型看板の設置による事業所の認知度向上とともに、検査用具等を使った専門的な療育指導ができるようになり、相談や通所が増えるようになりました。



《始良事業所の建物と看板》



《室内の様子》

◇地域資源活用支援

○魅力ある食品開発支援事業

本県の地域資源である良質で豊富な農林水産物を活用し、機能性表示食品やハラル認証食品等に向けた付加価値の高い食品の研究開発や商品開発に要する経費の一部を助成しました。(採択1件)

企業名：福山黒酢(株)
所在地：霧島市福山町福山
2888
業 種：食料品製造業

《テーマ》
コロナ禍で変化する社会
ニーズに適用した発酵食の
実用化研究



《開発した壺造り発酵ぬか床》

《支援内容・成果》

コロナ禍で外食が減り、巣ごもり需要が増加する中で、黒酢に多く含まれるアミノ酸を強化した発酵食の研究開発を支援しました。

黒酢の醸造過程で分離した乳酸菌を添加した発酵ぬか床は、無添加のぬか床よりもアミノ酸が増え、早く漬かることが分かりました。また、黒酢製造で使用する有機米を削ったぬかを原料に用いているため、有機JASの審査を経て、“有機ぬか床”として販売を開始する予定です。

◇研究開発・技術支援

○先端技術研究開発支援事業

自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、② AI・IoT やロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等に要する経費の一部を助成しました。(採択2件)

企業名：Buddycare(株)
所在地：鹿児島市名山川
9-15
業 種：ペット・ペット用品
小売業

《テーマ》
鹿児島県産原料・県内工場
で作るカスタムドッグフード
の研究開発

《支援内容・成果》

国産（鹿児島県産）の食材を使用し、最新の国際的栄養基準に則ったレシピ開発に関する研究開発を支援しました。

AAFCO（米国飼料検査官協会）の基準に則り、鹿児島県産の食材を中心に使用した合計6種類のレシピを開発しました。

また、犬に対しての香り、味等の嗜好性も確認しており、一部については販売を開始しました。



《鹿児島県産原料を中心とした
カスタムドッグフード》

企業名：(株)五反共楽園
所在地：鹿児島市吉野町
5450-1
業 種：造園業

《テーマ》
鹿児島大学トルコギキョウ
新品種の高品質・高収益な
切り花生産のためのIoTを
活用した栽培体系の開発

《支援内容・成果》

鹿児島大学の有するトルコギキョウの新品種と生産技術を生産現場において実証し、高品質・高収益な切り花生産体系を構築するための研究開発を支援しました。

大学と同社の管理記録やハウス内の環境データをクラウド上で共有し、ノウハウを「見える化」することで栽培技術を習得し、写真共有やチャットにより病気の早期発見や早期対応が可能となりました。

今後、需要と切り花単価の高くなる時期に収穫のピークとなるような低コストかつ高品質・高収益性を両立した栽培体系の確立を進めていきます。



《IoTを活用したトルコギキョウ》

特 集

鹿児島ケース株式会社が

令和4年度鹿児島県経営品質賞『奨励賞』を受賞！

鹿児島県経営品質賞は、「顧客本位に基づく卓越した業績を生み出す経営の仕組み」を追求し、経営品質向上プログラムを実践している組織を表彰することで県内企業等の経営品質向上活動への取組を促進し、県産業全般にわたる活性化を図ることを目的として、平成16年度に当センターが創設した表彰制度です。

本年度は、8月29日開催の判定委員会で推薦された1組織を受賞組織として決定し、令和4年10月25日に表彰式を開催しました。

【奨励賞】 鹿児島ケース株式会社

代 表 者：代表取締役社長 居迫 伸孝
従業員数：50名
T E L：099-245-1960
U R L：https://www.kcase.jp/

所 在 地：日置市吹上町与倉4954-19
事業内容：製造業
F A X：099-245-1961



受賞記念撮影



受賞スピーチをする居迫社長

【受賞理由】

■経営理念・ビジョンを実現する企業体質への改革

財務体質が悪化している中で就任した社長は、会社を盛り立てるメンバーと共に事業再生に取り組み、2年で財務体質を改善したこと。

この取組から、経営理念に掲げた社員一人ひとりの成長・幸福とお客様に価値を提供し続ける経営の重要性を再認識し、企業のビジョン（ありたい姿）を制定し、各部署が連携・連動してビジョンを実現できるよう企業体質の改革に取り組んでいること。

社員アンケートでは「仕事の手ごたえ」が前年より改善すると共に、半導体需要の低下やコロナ禍においても、堅実な経営が可能な経営体質を獲得しつつあること。

■お客様の需要に柔軟に対応する生産管理と現場力

受注状況によって残業、徹夜で対応していた段階から、社内連携により計画的に生産できるようコントロールするレベルに進化し、お客様の需要に対応したバランスのとれた受注体制・生産体制に変革していること。

現場の社員も5Sやカイゼン活動、スキルマップ表を活用した能力アップなどに取り組み、受注から出荷に至る各プロセスでの品質向上に責任を持って対応していること。

このような取組から、納期遵守率の向上、輸送費の削減を実現し、さらに他社ができない仕事が「鹿児島ケースなら大丈夫」ということで新たな依頼がくるなど、一貫製造体制の下で自社のQ D T Cの強みを活かした競争力を発揮していること。

※Q D T C：Q（品質）、D（納期）、T（技術）、C（コスト）

※鹿児島県経営品質賞の過去の受賞組織

令和2年度	(株)南光：優秀賞	平成26年度	(株)現場サポート：優秀賞
令和元年度	(株)現場サポート：知事賞（大賞）	平成25年度	(医)愛誠会昭南病院：優秀賞
令和元年度	(株)ポムフード：優秀賞	平成23年度	(株)九州タブチ：知事賞（大賞）
平成30年度	今別府産業(株)：優秀賞	平成20年度	(株)九州タブチ：優秀賞
平成29年度	(株)藤田ワークス：知事賞（大賞）	平成18年度	(株)藤田ワークス：優秀賞
平成28年度	(医)愛誠会昭南病院：知事賞（大賞）	※記載のない年度は、受賞組織なし	

【お問い合わせ先】 （公財）かごしま産業支援センター 経営支援課 TEL：099-219-1273

会員企業PRコーナー【情報会員限定】

事業案内、商品案内、新製品紹介等
会員企業の営業活動を支援します！

株式会社 ナンチクファクトリー

「高品質かつ丁寧な仕事」で製造された畜肉加工品を皆様にお届けします。

◆畜肉スライス製品・ミンチや冷凍食品向け原料などの一次加工、並びに焼レバーやホルモン加工品などの加熱加工品の製造販売を主体として力を入れており、より消費者ニーズに近い製品の提供を目指しています。

鹿児島市の七ツ島と錦江町に工場が2拠点と、南栄および東谷山には営業部門を有し、薩摩半島一円並びに沖縄をはじめとする各離島を網羅する営業展開で、南九州から日本の食肉文化を支える企業として、これからも走り続けます。



鹿児島市七ツ島1-2-11
TEL 099-261-2944
FAX 099-262-0492
資本金 8,000万円
従業員数 104名

◆事業内容
(工場) 豚肉・内臓副産物及び畜肉加工品の製造販売
(営業・商事) 畜肉及び畜肉加工品全般の営業販売

【1998年7月会員加入】

有限会社 九面屋

<https://kumenya.co.jp>

九州の自然を味覚で創る。(九州の特産品を上品で味わい深いお菓子に創ります)

◆(秋季限定品)

塩栗かるかんの新製品を発売

鹿児島県与論島の海洋深層水より採取したこだわりの塩「星の砂塩」を生地に練り込み、まるごと1個の栗をトッピングして、塩辛さと栗の甘みを調和させた製品となっています。

◆販売所

- ・鹿児島空港内各売店
- ・鹿児島県内高速道路SA
- ・JR鹿児島中央駅など



霧島市隼人町真孝2270-34
TEL 0995-55-5596
資本金 1,000万円
従業員数 42名
創業 1930年

◆事業概要
菓子製造業
・かるかん饅頭、さつま芋菓子、餅菓子などの製造を行っております。

【2020年1月会員加入】

株式会社 にいやま園

<https://ochanoniiyamaen.com>

最小100個から作れる オリジナルパッケージティー

◆にいやま園のオリジナルパッケージティーは100個から作ることができます。

長年培った商品開発経験をいかして、小売店様や個人のお客様向けにもOEMの対応いたします。

沢山の種類の中からお茶を選ぶことができ、またお客様独自の素材を使つてのオーダーメイドのご相談も承ります。

ノベルティーやお茶のオリジナル商品の販売などご検討の方は一度ご相談ください。



お茶のにいやま園

日置市伊集院町麦生田2142
TEL 099-273-9820
従業員数 7名

◆事業内容
・鹿児島茶の販売提案
・鹿児島の農作物等を使用したフレーバーティー開発
・業務用等の卸販売
・お茶のメニュー提案
・直営店、ECサイトの小売販売

【2020年4月会員加入】

掲載企業募集中！ センター『情報会員限定』、掲載料無料です。お申込みは下記まで

【申込み・問い合わせ先】 (公財) かごしま産業支援センター 総務情報課

TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279 E-mail : info@kisc.or.jp

日高水産加工有限会社

<https://www.hidakasuisan.co.jp>

旨み凝縮の、さつま揚げ・かまぼこ 7種のセット！ 全国どこでも送料無料

◆お電話一本でご自宅・ご友人・お世話になったあの人へ、お歳暮発送いたします。コンビニで利用できる振込用紙を郵送いたしますので、お支払いも簡単です。

①弊社の人気商品さつま揚げ・かまぼこの7種類セット (送料・税込み2,800円)

②焼酎黒七とさつま揚げで晩酌してラーメンで締める「焼酎セット1」 (送料・税込み5,000円)

贈答用としてはもちろん、手軽に自宅で食べるのもお勧めです。電話、ファクス、弊社売店、HPで注文を受け付けています。詳細や他の商品はHPへ



①「7種類セット」



②「焼酎セット1」



いちき串木野市西薩町17-14

TEL 0996-32-9421

FAX 0996-32-9948

資本金 1,000万円

従業員数 45名

◆事業概要

創業1948年

さつま揚げの製造販売

【2020年5月会員加入】

上園食品株式会社

<https://uezonoshokuhin.co.jp/>

馬のマークが目印の麦みそ漬

◆鹿児島県産の大根と高菜を使った漬物を作っています。最近では、隼人瓜や二十日大根の漬物も始めました。おいしいと言っていただける漬物を作ることがモットーです。



霧島市隼人町真孝字松山3344-1

TEL 0995-42-6969

FAX 0995-43-1160

資本金 1,000万円

従業員数 48名

◆事業内容

漬物製造・卸・販売

原料自社栽培(鹿屋市)

【2020年7月会員加入】

有限会社 やまた水産食品

<https://www.yamata-s.com>

阿久根の地から全国、そして海外へ

◆「世代を超えて愛される食を創造する」の企業理念のもと、小さなお子様からご年配の方まで幅広い世代に向けて、魚を食べやすく加工した冷凍食品を作っています。

大日本水産会HACCP認証を取得し、徹底した衛生管理を行っています。

自社で商品の企画及び生産を一貫して行っており、国内に限らず海外にも販路を広げています。



阿久根市晴海町11

TEL 0996-72-3033

設立 1984年12月

資本金 1,000万円

従業員数 48名

◆事業内容

水産冷凍食品製造業

【2022年8月会員加入】

【情報会員限定】「ITパスポート(国家資格)」取得者の 受講料を助成いたします!!

この制度は、かがしま産業支援センターの情報会員が「ITパスポート」取得者の受験料を負担した経費の一部を助成するものです。

- ◆ 助成対象 かがしま産業支援センター情報会員であり、鹿児島県内に主たる事務所を有する中小企業者
- ◆ 助成対象事業 ITパスポート（国家資格）の取得支援に係る事業等
- ◆ 助成対象経費
 - 1 「ITパスポート」を取得した場合の「受験料」
 - 2 その他、特に認める事業の資格を取得した場合の「受験料」
- ◆ 助成率等
 - 1 助成対象経費の3分の2以内、限度額は1件・5千円
(千円未満切捨て)
 - 2 同一の情報会員につき同一年度の上限額は1万円
- ◆ 応募方法 詳細は、当センターホームページをご覧ください。
<https://www.kisc.or.jp/cat-soumu/56402/>

【お問い合わせ先】(公財) かがしま産業支援センター 総務情報課

TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：info@kisc.or.jp

<http://minami-sinsa.com>



<コロナに学ぶ> リスク対応できましたか？

ISOでは、品質・環境・労働安全衛生でも常々
リスクと機会を考え、対応を計画実施、チェ
ックすることで更なる改善を目指しています。
食品安全 HACCP の相談も受付中。

ISOの適切な運用でマネジメントに 力をつけて、リスクに強く伸びる会社へ！

ISO等の審査・研修は

南日本審査(株)

始良市西餅田 3344-2

- ・ システム参考文書 無償提供
- ・ 内部監査員養成（受講料無料）
- ・ 県内審査員で交通費ほぼ0

TEL 0995-64-5727



公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center

かがしま産業支援センター

〒892-0821

鹿児島市名山町9番1号（県産業会館2F）

TEL (099) 219-1270

FAX (099) 219-1279

E-mail: kisc@kisc.or.jp <https://www.kisc.or.jp>